

3. 調査結果

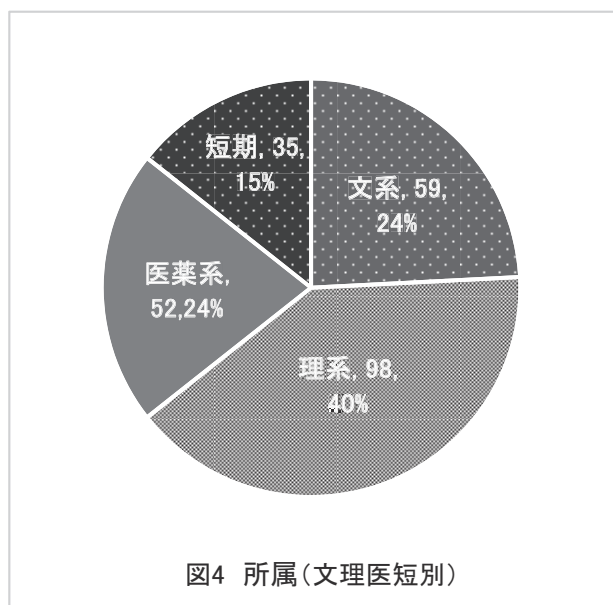
I. 回答者のプロフィール

1. 所属

表1 所属

グループ	所属	人数
短期	留学生センター等（部局所属の短期プログラム含む）	35
文系	人間社会学域	28
	人間社会環境研究	27
	教育学研究科	4
	法務研究科（法科大学院）	0
理系	理工学域	15
	自然科学研究科	83
医薬系	医薬保健学域	6
	医薬保健学総合研究科	32
	医薬保健学総合研究科（創薬科学・薬学専攻）	7
	医薬保健学総合研究科（保健学専攻）	7
	計	244

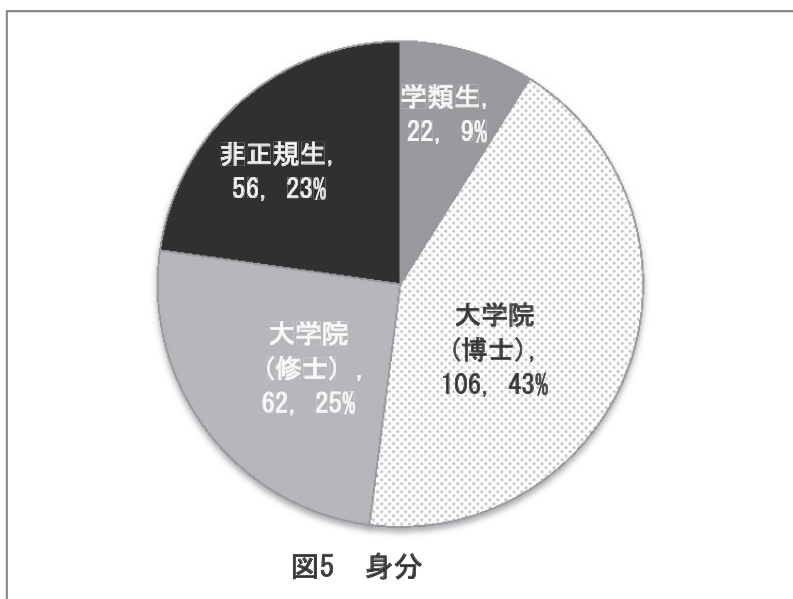
所属を、文系、理系、医薬系および海外の協定校からの短期交換留学生（以下、「短期」と記載）のグループ別に見ると、理系の学生が40%（98人）、医薬系の学生が21%（52人）、文系が25%（59人）、短期が15%（35人）を占めている。これは全学の留学生の割合を反映しているといえる。



2. 身分

表2 身分

学類生	22
大学院（博士）	106
大学院（修士）	62
研究生	8
特別聴講学生（KUSEP）	22
特別聴講学生（日本語・日本文化研修コース）	6
特別聴講学生（一般短期プログラム）	9
特別聴講学生（セメスタープログラム）	6
特別聴講学生（その他）	5
科目等履修生	0
その他	0
計	246



身分別に見ると、大学院生が最も多く、続いて非正規生、学類生と続く。これも全学の割合を反映している。

3. 学年

学類、修士、博士はいずれも正規学生の学年を示している。

表 3 学年

学類 1 年生	4
学類 2 年生	7
学類 3 年生	8
学類 4 年生	3
修士 1 年生	23
修士 2 年生	38
博士 1 年生	26
博士 2 年生	32
博士 3 年生	29
博士 4 年生	14
博士 5 年生	1
特別聴講学生	48
計	233

4. 年齢

年齢は 20～25 歳が 40.8%，26～30 歳が 33.5%，31～35 歳が 14.3%，36～40 歳が 9.0%，40～45 歳が 2.4%であり，20 代が 74.3%を占める。

表 4 年齢

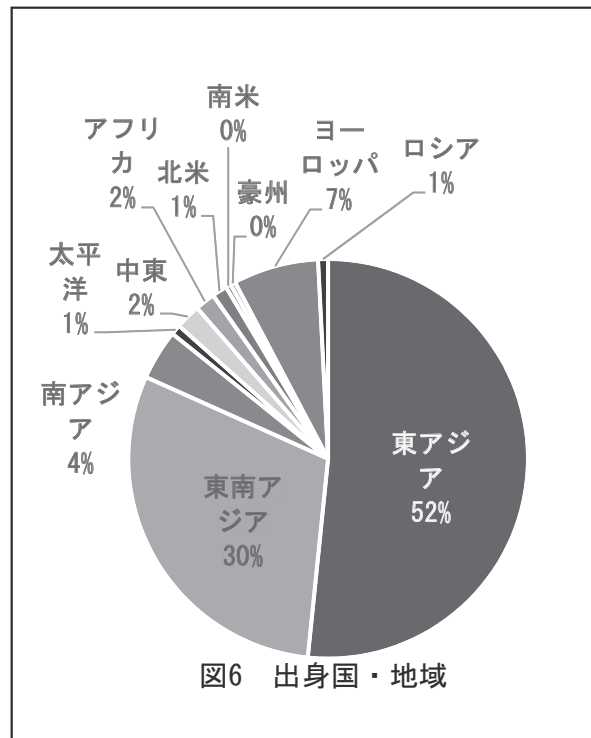
20-25 歳	100
26-30 歳	82
31-35 歳	35
36-40 歳	22
41-45 歳	6
計	245

5. 出身国・地域

最も多いのが中国で104人、次に東南アジアのベトナムが29人、インドネシア25人、韓国が13人と続く。地域別にみるとアジアが最も多く、全体の80%近くを占めるが、その他ヨーロッパ、ロシア、中東、北米、アフリカ、豪州、南米、太平洋州からの学生もあり、これもほぼ全学の留学生の割合に対応する。

表5 出身国・地域

地域	国名	人数
東アジア	中国	104
	韓国	13
	モンゴル	6
	台湾	3
	チベット	1
東南アジア	インドネシア	25
	マレーシア	9
	フィリピン	2
	タイ	9
	ベトナム	29
南アジア	インド	1
	バングラディシュ	9
太平洋	フィジー	1
	ソロモン諸島	1
中東	イラン	5
アフリカ	エジプト	3
	ウガンダ	1
北米	アメリカ合衆国	3
南米	メキシコ	1
豪州	オーストラリア	1
ヨーロッパ	ベルギー	3
	英国	2
	フィンランド	1
	フランス	2
	ドイツ	2
	イタリア	1
	オランダ	1
	ポーランド	2
	スロバキア	2
	スペイン	1
ロシア	ロシア	2
		246



6. 母語

多くを占めるのは中国語，続いてベトナム語，インドネシア語母語話者であり，出身国・地域と対応する。それ以外は多様であることがわかる。

表 6 母語

中国語	107
ベトナム語	29
インドネシア語	25
韓国語	13
バングラディッシュ語	9
タイ語	9
英語	8
マレー語	6
モンゴル語	6
ドイツ語	5
ペルシャ語	4
アラビア語	2
フランス語	2
フィリピン語	2
ポーランド語	2
ロシア語	2
スロバキア語	2
チベット語	2
アゼリー語	1
カタルーニャ語	1
エジプト語	1
フィンランド語	1
ヒンディ語	1
イタリア語	1
ソロモン諸島ピジン語	1
スペイン語	1
タミル語	1
ウイグル語	1
	245

7. 性別

男性と女性が占める割合は男性が 113 名，女性が 132 名でほぼ同数である。

表 7 性別

男	113
女	132
計	245

8. 金沢大学でのこれまでの在籍期間

表 8 これまでの在籍期間

期間	人数
半年未満	47
半年～1年	67
1年～1年半	25
1年半～2年	27
2年～2年半	26
2年半～3年	18
3年～3年半	9
3年半～4年	11
4年～4年半	5
4年半～5年	3
5年～5年半	5
5年半～6年	0
6年以上	1
計	244

在籍期間が半年未満は、正規生の1年生および、短期留学プログラム生である。また、半年から1年という学生は、前年の秋に来日した短期留学プログラム生が多い。

今後の在籍予定期間については、半年未満というのはこの年の8月に留学期間を終えて帰国する短期留学プログラム生の他、秋入学の学生であろうと考えられる。

9. 金沢大学での今後の在籍予定期間

表 9 今後の在籍予定期間

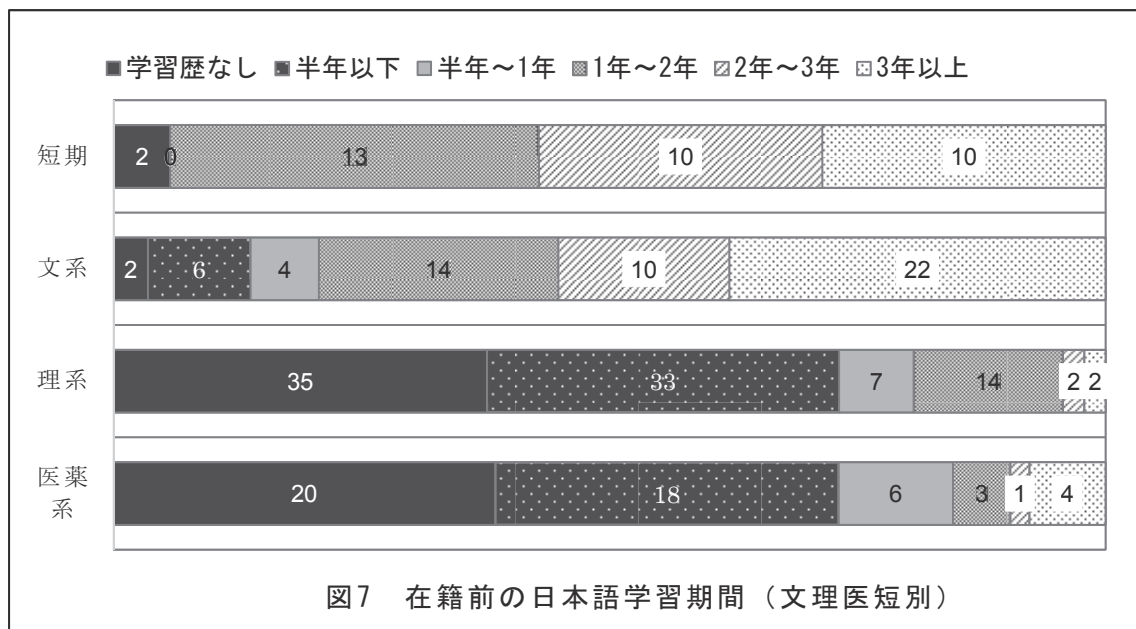
期間	人数
半年未満	30
半年～1年	48
1年～1年半	35
1年半～2年	16
2年～2年半	27
2年半～3年	18
3年～3年半	35
3年半～4年	6
4年～4年半	20
4年半～5年	4
5年～5年半	3
5年半～6年	0
6年以上	1
計	243

10. 金沢大学へ来る前の日本語学習期間

表 10 在籍前の日本語学習期間

期間	人数
半年未満	106
半年～1年	15
1年～1年半	15
1年半～2年	11
2年～2年半	33
2年半～3年	9
3年～3年半	14
3年半～4年	1
4年～4年半	15
4年半～5年	1
5年～5年半	5
5年半～6年	1
6年以上	14
計	240

日本語を全く勉強せずに来日する人が 59 人、半年以下が 57 人、半年から 1 年が 17 人と半数近くを占める。一方、1 年以上国で勉強してから来日する学生も半数近くにのぼる。これについて、回答者の所属分野別に見たのが図 7 である。これを見ると、理系、医薬系の学類・研究科に所属する学生は日本語をほとんど学習せずに来日する学習者が多くを占める。一方、文系の学類・研究科では 2 年以上の学習歴がある学生が半数を占めている。また、海外の協定校からの短期交換留学生は、既習歴のある学習者が大半を占め、ほとんどが 1 年以上の学習歴を経て本学に留学している。これらのことから、本学には来日時点で様々なレベルの学習者がいることがわかる。



11. 金沢大学在籍後の日本語学習期間

表 11 金沢大学に在籍後の日本語学習期間

期間	人数
半年未満	82
半年～1年	59
1年～1年半	44
1年半～2年	18
2年～2年半	14
2年半～3年	11
3年～3年半	2
3年半～4年	1
4年～4年半	2
4年半～5年	1
5年～5年半	4
5年半～6年	4
6年以上	1
計	243